

令和3年5月20日

稲城市サッカー連盟
少年部加盟団体代表者 各位

稲城市サッカー連盟
理事長 池田 英司

コロナ禍における、稲城市サッカー連盟の活動について

日頃より、本連盟の活動にご理解ご協力いただき大変ありがとうございます。

現在、新型コロナウイルスの感染者数の再拡大、また変異株の感染者増大により、今後も感染症対策に万全を尽くす必要があることを強く認識しております。したがって、本連盟ならび、加盟団体の活動については、一定の指針を示し、選手、保護者の不安を取り除いたうえでおこなうことが重要であるとの認識に至りました。

下記につきまして、選手、保護者にお伝えのほどよろしく申し上げます。

記

基本方針

本連盟では所属団体それぞれが、徹底した感染症対策を行っており、現在まで全ての所属団体から、練習や試合などのサッカー活動が原因で感染者が出たとの報告は、今のところありません。

したがって、下記の事項に基づき、万全の対策を立てたうえでの活動は認め、また大会も実施することといたします。（緊急事態宣言中は市外団体との交流は行わない）

- 1) 選手、コーチ、スタッフ、会場来場者は、従来どおり、当日より2週間前までの同居家族を含めた健康チェックシートの記載、また団体責任者がそれをチェックした上で来場者名簿を作成し、会場管理者等、提出先がある場合は必ず提出すること。
練習、試合ともに、時間短縮、参加者数を減らす等の努力をすること。
練習会場、大会会場においても万全の対策をとること。
- 2) 選手、コーチ、スタッフから感染者が出た場合は、少年の部部長まですみやかに報告すること。また別紙の報告書を提出すること。
- 3) 加盟団体関係者に感染が認められた場合、感染者がチーム活動に参加していたと仮定されたら、その加盟団体は以後2週間、活動を自粛すること。但し活動場所や時間帯が学年ごとで他学年との接触が無いと証明出来れば、学年単位の2週間の活動自粛も認める。
徹底的な感染経路を確認し、全てまたは一部において活動に影響なしとチームで判断した場合は、その詳細を報告書に記載すること。
※本連盟も、その内容に問題が無いと判断した場合は、チーム判断を支持します。

上記を選手、保護者に伝え、万全の対策をもって活動していること、また感染者が出た場合、すみやかに活動を中止し、感染症拡大防止に努めるよう申し合わせていることをお伝えいただきますよう、お願いします。

以上